

平成 28 年 第 5 回定例会

岩見沢市教育委員会会議録

平成 28 年 5 月 17 日 開会

平成 28 年 5 月 17 日 閉会

岩見沢市教育委員会

平成28年 第5回定例会
岩見沢市教育委員会会議録
(平成28年5月17日)

○本委員会に付議した議件

- 1 報告第6号 教育長の一般経過報告について
- 2 議案第28号 岩見沢市教育委員会事務局の組織に関する規則の一部改正について
- 3 議案第29号 岩見沢市教育行政点検評価にかかる検討委員の委嘱について
- 4 議案第30号 岩見沢市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について
- 5 議案第31号 岩見沢市立教育研究所運営委員会委員の委嘱について
- 6 議案第32号 岩見沢市学校給食運営委員会委員の委嘱について
- 7 議案第33号 岩見沢市社会教育委員の委嘱について
- 8 議案第34号 岩見沢私立幼稚園就園奨励費交付金に関する規則の一部改正について
- 9 議案第35号 平成28年度教育委員会関係補正予算について
- 10 協 議 9 岩見沢市図書館協議会委員の選出方法について
そ の 他

○本委員会に出席した者

委 員 長	武 藏 輝 彦
委 員	秋 山 信 也
委 員	渡 邊 律 子
委 員	杉 野 幹 夫
教 育 長	舩 甚 和 俊
教 育 部 長	山 下 修
子育て支援推進担当次長	鈴 木 栄 基
学 校 教 育 課 長	加 藤 信 浩
指 導 室 長	兼 平 晃 成
学 校 給 食 課 長	町 田 隆
生涯学習・文化・スポーツ振興課長	相 河 学
教 育 施 設 課 長	清 水 誠 志
子 ど も 課 長	所 美 穂 子
図 書 館 長	杉 原 理 美
緑陵高等学校事務長	川 原 卓 也

事務局学校教育課総務係長

武 田 弘 毅

事務局学校教育課総務係

井 上 敬 太

午後 2 時 0 0 分 開会

○武蔵委員長 ただ今から、平成 28 年第 5 回教育委員会定例会を開催いたします。

本日の署名委員につきましては、秋山委員さんをお願いします。

初めに、日程番号 1、報告第 6 号 教育長の一般経過報告について 説明をお願いします。

○舛甚教育長 平成 28 年 4 月 12 日から 5 月 11 日における事務処理の概要について、ご説明いたします。

4 月 12 日、空知管内市町教育委員会教育委員会議が行われました。岩見沢で事務局を運営しておりましたが、今年度で解散となりました。

4 月 26 日、平成 28 年度公立高等学校配置計画地域別検討協議会に出席しました。

5 月 3 日、ロータリー旗争奪中学校選抜野球岩見沢大会開会式に出席しました。

5 月 11 日には、総務常任委員会がありました。同じ日に中央小学校の校区の方々に、改築場所に関する説明会を、保護者並びに市民に対して説明会を開催しています。大きな反対意見はありませんでした。

以上でございます。

○武蔵委員長 ただ今、教育長から、一般経過報告がございました。

これにつきまして、ご質問ご意見等ありましたらお願いしたいと思います。

(「ありません」という声あり)

○武蔵委員長 では私から。中央小の同窓会関係者の方から話を伺ったのですが、どういう人たちを集めたのか、という声がありました。同窓生に対してご配慮いただければよかったのではないのでしょうか。

○舛甚教育長 そうですね。保護者には、子どもの手を通して、全世帯に配り、あと町内会を通して校区の地域住民の方全てには、回覧等では周知していたのですが、ただ、同窓会へは、ご案内を差し上げていませんので、その部分では配慮があればなお良かった。

○武蔵委員長 分かりました。それでは、ほかに特にないですね。それでは、報告ですので、これで終わらせていただきます。

それでは続きまして、議案に対する提案理由について、説明を求めます。

○山下教育部長 私から、議案第 28 号から議案第 35 号までの 8 案件につきまして、一括して提案理由をご説明いたします。

議案第 28 号 岩見沢市教育委員会事務局の組織に関する規則の一部改正について。

私立学校に係る事務の移管に関する所要の規定の整備を行おうとするものであります。

議案第 29 号 岩見沢市教育行政点検評価にかかる検討委員の委嘱について。

平成 27 年度事業についての点検・評価を実施するにあたり、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するための検討委員の委嘱について、ご審議を願うものであります。

議案第 30 号 岩見沢市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について。

学校長選出区分委員 2 名の退任に伴う後任委員の委嘱について、ご審議を願うものであ

ります。

議案第31号 岩見沢市立教育研究所運営委員会委員の委嘱について。

学識経験者選出区分委員、社会教育関係者選出区分委員及び学校教育関係者選出区分委員の計5名の退任に伴う後任委員の委嘱について、ご審議を願うものであります。

議案第32号 岩見沢市学校給食運営委員会委員の委嘱について。

平成28年5月31日をもって2年間の任期が満了となることから、次期委員の委嘱について、ご審議を願うものであります。

議案第33号 岩見沢市社会教育委員の委嘱について。

任期満了に伴う団体推薦の選出委員2名の次期委員及び学校教育関係者選出区分委員1名の退任に伴う後任委員の委嘱について、ご審議を願うものであります。

議案第34号 岩見沢私立幼稚園就園奨励費交付金に関する規則の一部改正について。

国の補助金交付要綱が改正されたことに伴い、所要の規定の整備を行おうとするものであります。

議案第35号 平成28年度教育委員会関係補正予算について。

平成28年度教育委員会関係補正予算につて、意見を求めるものであります。

よろしく願いいたします。

○武蔵委員長 それでは、日程番号2、議案第28号 岩見沢市教育委員会事務局の組織に関する規則の一部改正について を審議いたします。

説明をお願いします。

○加藤学校教育課長 議案第28号 岩見沢市教育委員会事務局の組織に関する規則の一部改正について、ご説明いたします。

市長部局の事務分掌について規定する岩見沢市事務分掌施行規則におきまして、私立学校に関することは、総務部庶務課で所管する事務でございました。

私立学校に関する事務につきましては、岩見沢市私立学校助成条例等で規定されており、校舎増改築費への補助、融資のほか、生徒または幼児の数及び学級数に応じた経営費などへの助成もごございます。

岩見沢市内には、私立の小中学校、高校等がないことから、実質的には私立幼稚園に関する事務が主体となります。

今回、当該事務について、教育委員会事務局へ移管することとなりました。移管の経緯については、子ども課長より説明させていただきますが、これに伴い、教育委員会事務局の事務分掌を定める、岩見沢市教育委員会事務局の組織に関する規則を一部改正するものであります。

なお、市長部局においても、岩見沢市事務分掌施行規則、岩見沢市長の権限に属する事務の委任規則の一部改正を合わせて行うこととし、平成28年6月1日より施行する予定でありますことを申し添えます。

以上でございます、ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○所子ども課長 子ども課からは、今回の改正の経緯と所管する事務についてご説明いたします。

子ども課では就学前の保育と幼児教育を一体的に担当するため、平成26年度から、学校教育課で所管していた幼稚園就園奨励費を所管し、保育係という名称も昨年からは、保育幼稚園係として、幼稚園の新制度移行、新制度幼稚園の保育料の改正などに取り組んできたところでございます。

このように、教育委員会内部では、所管事務を調整してまいりましたが、このほかに、幼稚園に係る事務として、市長部局である総務部庶務課が所管する、幼稚園連盟及び各幼稚園への私学助成が残っておりましたので、子ども課が所管する保育幼稚園係の事務分掌を、「市立幼稚園に関すること」から「幼稚園に関すること」に変更し、係の名称通り、保育園と幼稚園に係る事務は、全て子ども課で所管するよう改正するものでございます。

これによって、窓口の混乱なく、保育と幼児教育に係ることはすべて子ども課でという整理ができるものと考えております。

子ども課からの説明は以上です。ご審議のほどよろしく願いいたします。

○武蔵委員長 ただ今、議案第28号についての説明がございました。

これにつきまして、委員の皆さま、ご意見ご質問ありましたらお願いしたいと思います。

以前は、私立学校というと駒澤高校がありました。今は全部幼稚園の関係であり、子ども課の設置意義を踏まえてということですね。

よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 特にご異議がないということでございます。議案第28号につきましては、原案のとおり決定といたします。

続きまして、日程番号3、議案第29号 岩見沢市教育行政点検評価にかかる検討委員の委嘱について を審議いたします。

説明をお願いします。

○加藤学校教育課長 議案第29号 岩見沢市教育行政点検評価にかかる検討委員の委嘱について、ご説明申し上げます。

先月開催されました第4回教育委員会定例会において、選出方法について決定をいただいたところでございます。

その決定を踏まえまして、点検評価にかかる検討委員を選考し、本日ご提案させていただきます。

選考にあたりましては、学校教育、社会教育、市PTA連合会関係、そして民間経営者の中から、それぞれ教育に関し学識経験を有し、教育活動に熱意のある方を選考することを基本に、5名を選考させていただきました。

昨年度までの実績も踏まえまして、社会教育の関係から高岡いづみ氏、干場法美氏、学校教育関係から山本理人氏、民間経営者及び市PTA関係から南原考之氏、また、新たに

市PTA関係から前野雅彦氏を加え5名を選出させていただきました。

なお、会議につきましては、今年度も5回開催し、議論をいただく予定でございます。
以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○武蔵委員長 ただ今、議案第29号についての説明がございました。

委員の皆様から、ご意見ご質問ありましたらお願いしたいと思います。

前回の協議を踏まえて、よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 特にご異議がないということですので、これで決定させていただきます。
議案第29号につきましては、原案のとおり決定いたします。

続きまして、日程番号4、議案第30号 岩見沢市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について を審議いたします。

説明をお願いします。

○兼平指導室長 議案第30号 岩見沢市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について
でございます。

前回の教育委員会で、いじめ問題対策連絡協議会委員の選出方法等についてお諮りをしたところ
でございます。平成29年4月30日までの任期途中の委員の異動に伴って、2名の委員を補充
いたしました。

校長会から大橋誠北真小学校長、それから、海藤哲彦清園中学校長です。

よろしくご審議をお願いいたします。

○武蔵委員長 ただいま、議案第30号についての説明がございました。

これにつきまして、委員の皆様から、ご意見ご質問ありましたらお願いしたいと思います。
す。

よろしいですか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 特にご異議がないですね。それでは、議案第30号につきましては、原案
のとおり決定いたします。

続きまして、日程番号5、議案第31号 岩見沢市立教育研究所運営委員会委員の委嘱
について を審議いたします。

説明をお願いします。

○兼平指導室長 議案第31号 岩見沢市立教育研究所運営委員会委員の委嘱について
でございます。

この件につきましても、前回の教育委員会で、選出方法等についてお諮りをしたところ
でございます。平成29年4月30日までの任期途中の委員の異動に伴って、5名の委員
を補充いたしました。

緑陵高等学校高瀬雅朗校長、市P連から北真小学校PTA会長の芳賀智一副会長、校長
会から東小学校長の土田雅満会長、教頭会から日の出小学校教頭の牧野良信会長、教育振

興会から明成中学校教諭の佐伯郁代研修部長でございます。

よろしくご審議をお願いいたします。

○武蔵委員長 ただ今、議案第31号についての説明がございました。

異動に伴う補充を、それぞれの所属団体から上がってきているということです。

ご意見ご質問ございますか。

(「ありません」という声あり)

○武蔵委員長 ご異議がないということでございます。それでは、議案第31号につきましては、原案のとおり決定といたします。

続きまして、日程番号6、議案第32号 岩見沢市学校給食運営委員会委員の委嘱について を審議いたします。

説明をお願いします。

○町田学校給食課長 議案第32号 岩見沢市学校給食運営委員会委員の委嘱についてご説明いたします。

前回の教育委員会定例会におきまして、選出方法についてのご協議をいただきました。任期満了による委員の改正につきまして、関係団体や学校関係者から11名の推薦をいただいております。

関係団体から岩見沢農業協同組合 遠藤浩一氏と崎田忠邦氏、関係行政機関から槌本浩司氏、岩見沢商工会議所から北澤治雄氏、岩見沢PTA連合会から簗島千絵氏、本田雅義氏、芳賀智一氏、学校関係から岩見沢市校長会から佐々木祐治氏、岩見沢市教頭会から松野岳彦氏、学校給食担当者代表として水戸範子氏、袖野美幸氏の計11名の推薦をいただきました。なお、遠藤浩一氏、崎田忠邦氏、北澤治雄氏、簗島千絵氏、本田雅義氏は再任としてご推薦いただいた方ございまして、他の6名の方は新たに推薦をいただいた方でございます。

以上、ご審議のほどをよろしくをお願いいたします。

○武蔵委員長 ただ今、議案第32号についての説明がございました。

これにつきましても委員の皆様から、ご意見ご質問ありましたらお伺いしたいと思います。

(「ありません」という声あり)

○武蔵委員長 任期満了で改めてこの皆さんにお願いするということです。

それではご異議がないということですので、議案第32号につきましては、原案のとおり決定いたします。

続きまして、日程番号7、議案第33号 岩見沢市社会教育委員の委嘱について を審議いたします。

説明をお願いします。

○相河生涯学習・文化・スポーツ振興課長 議案第33号 岩見沢市社会教育委員の委嘱についてご説明申し上げます。

3月31日をもちまして任期満了となりました社会教育委員の委嘱にあたり、3月定例会にて15名のうち13名の委員を決定いただいたところでございますが、団体からの推薦が未推薦でありました2名、また、4月の人事異動に伴い欠員となりました1名の後任委員を改めて選出させていただき、ご審議願うものでございます。

議案2枚目委員名簿（案）をご覧ください。網かけのところが今回選出をさせていただいた方でございます。

まず1番、学校教育関係者として4月人事異動により新たに岩見沢緑陵高等学校長に着任されました高瀬雅朗氏、次に2番、同じく学校教育関係者として校長会推薦であります志文小学校長の石丸由美子氏、次に5番、社会教育関係者としてPTA連合会推薦であります市P連会長の南原考之氏、以上3名を選出いたしましたので委嘱につきましてご審議よろしくお願いいたします。

○武蔵委員長 ただいま、議案第33号についての説明がございました。

3月の時点で選考をしましたが、そのあと異動と、団体からの推薦ということで3名の方を、今回の会議で承認をいただきたいということです。

よろしいでしょうか。

（「はい」という声あり）

○武蔵委員長 特にご異議がないということでございます。議案第33号につきましては、原案のとおり決定いたします。

続きまして、日程番号8、議案第34号 岩見沢私立幼稚園就園奨励費交付金に関する規則の一部改正について を審議いたします。

説明をお願いします。

○所子ども課長 議案第34号 岩見沢私立幼稚園就園奨励費交付金に関する規則の一部改正についてご説明いたします。

幼稚園就園奨励費とは、幼児教育に係る保護者負担の軽減のため所得に応じて入園料や保育料を減免する幼稚園に対し、その減免分を補助することによって幼稚園への就園を奨励するという制度です。

対象となるのは、子ども子育て支援新制度に移行せず従来制度で運営している幼稚園、よいこのくに幼稚園、岩見沢めぐみ幼稚園、駒沢幼稚園の3園となります。

就園奨励費は国庫補助対象となっていますので、補助限度額については国が定める交付要綱と同額としています。

現在、国では段階的に幼児教育の無償化に取り組もうとしているところであり、今年度については概ね年収360万円以下の世帯について、小学校3年生から数えていた兄弟の年齢制限を撤廃したうえで、第2子を半額以上、第3子以降を全額補助すること、さらに年収360万円以下のひとり親世帯や障がい者のいる世帯などの場合、年齢制限を撤廃したうえで、第1子が半額以上、第2子以降を全額補助することとしています。

年収が360万円を超える場合は、これまでどおり小学校3年生から数えて第2子半額

以上、第3子以降全額補助となります。

国が想定する年収360万円の世帯というのは、4人家族で夫婦の片方のみが働いている世帯をモデルとしている額であるため、家族構成や扶養の状況を様々な家庭に当てはめるため、税額上いくらで線を引くかという基準を定める必要があります。そのボーダーラインは国の通知に基づき、市民税所得割課税額77,100円以下の世帯と定義いたしました。

議案のほうに別表第1、別表第2などついておりますけれども、整理いたしますと別表第1は子どもが1人または兄弟全員が幼稚園に就園している世帯の場合の限度額となります。

別表第2は入園児に小学生の兄弟がいる場合の限度額で、このうち市民税所得割課税額77,100円以下の世帯は兄弟の年齢制限を撤廃したうえで入園児が第何子に該当するかを判定し、77,100円を超える世帯は小学校1年生から3年生までの兄弟から数えて第何子目かを判定します。

第2表に加えるのは、市民税所得割課税額77,100円以下の世帯のひとり親世帯や障がい者のいる世帯など、第3条第3項の1から7に該当する世帯の場合の限度額となります。

いずれも国庫補助金交付要綱に合わせた改正となっております。ご審議のほどよろしくお願いたします。

○武蔵委員長 ただ今、議案第34号についての説明がございました。

委員の皆様から、ご意見ご質問ありましたらお願いしたいと思います。

これも国の基準に基づいてということでございます。よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 それでは特にご異議がないということでございますので、議案第34号につきましては、原案のとおり決定といたします。

続きまして、日程番号9、議案第35号 平成28年度教育委員会関係補正予算についてを審議いたします。

説明をお願いします。

○兼平指導室長 議案第35号 補正事業の指導室関係分についてご説明申し上げます。

教育指導振興事業に、北海道道徳教育推進校事業という北海道教育委員会の指定事業に係る事業費を計上するものでございます。

北海道道徳教育推進校事業は、毎年札幌市を除く道内各教育局から小・中各1校ずつ指定し、各地区の道徳教育の発展に寄与しております。

昨年度は、空知管内においては、小学校は岩見沢市立日の出小学校、中学校は滝川市の開西中学校が指定を受けました。

平成28年度は小・中共に岩見沢市立日の出小学校、明成中学校が指定校となり、同一校区で連携して研究を行う体制を考えております。

指定に伴う事業費が1校31万円、2校で62万円となることから、補正を要望させていただきたいと考えております。

以上です。

○所子ども課長 子ども課所管分についてご説明いたします。

はじめに、保育所入所運営事業のうち、ひまわり保育園建築補助に係る補正です。

ひまわり保育園は5条東13丁目にあります定員60名の認可保育所です。

現園舎は延床面積432.97平米で、昭和55年に建築し35年が経過しております。園舎の耐力度調査の結果改築が必要とされましたが、通常保育を行いながらの大規模耐震工事は保育環境の確保という面から非常に難しく、また現園舎は遊戯室などが手狭なことから安定的な保育の実施と園児の安全確保、保育環境の充実という点から、現在駐車場として使用している用地に改築を行うものであります。

改築後の面積は753.92平米。従来84平米だった遊戯室を234平米に拡大するなど、全体にゆとりのある配置となっています。

今回の改築に伴い、定員の範囲内で利用希望の多い0歳児の受け入れ枠を6人から8人に拡大する予定です。

建築は2か年となっており、今年度は杭打ちと基礎工事、次年度に躯体の建築を行います。そのため今年度の補助額は全体経費の18%となります。

保育所の改築については、国の補助が確定してからの予算措置となることから、当初予算ではなく6月補正予算としております。補助の内示については現在協議中であり、6月にずれ込む見込みですが、確定後9月に補正するとした場合、必要な工期が確保できないことから6月補正とし、執行については国庫補助確定後としたいと考えております。

次に、同じく保育所入所運営事業のシステム改修についてです。

先ほど、幼稚園就園奨励費交付金に関する規則の一部改正の中で年収360万円以下の多子世帯については、第1子の年齢制限を撤廃するというご説明をさせていただきましたが、認可保育所の保育料においても同様の改正がされております。

該当する規則については、3月25日の教育委員会臨時会議案第17号で改正済みですが、実際に保育料を算定するためには現在使用している保育システムの改修が必要になりますので、改修費として500万円を計上しております。

また、システム改修には200万円を上限とし2分の1の国庫補助が充当されるため、歳入として100万円を計上いたしました。

子ども課補正予算についての説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いたします。

○武蔵委員長 ただ今、議案第35号についてそれぞれ説明がございました。

委員の皆様から、ご意見ご質問ありましたらお願いしたいと思います。

(「ありません」という声あり)

○武蔵委員長 よろしいですか。補助金が絡む部分もあってというところもあります。

特にご異議、ご質問もないということでございますので、決定をさせていただきます。
議案第35号につきましては、原案のとおり決定いたします。

なお、これの最終的な決定は6月の市議会第2回定例会の審議を経て、そちらの決定をみて決定するという事だと、どうぞご理解をいただきたいと思っております。

続きまして、日程番号10、協議9 岩見沢市図書館協議会委員の選出方法についてを審議いたします。

説明をお願いします。

○杉原図書館長 それでは協議9につきましてご説明申し上げます。

8月末をもちまして任期満了となります図書館協議会委員の選出方法についてご協議願うものでございます。

岩見沢市立図書館条例に基づき、引き続き定数の上限である10名を選出させていただきたいと思っております。

学校教育関係者につきましては従前のおりに校長会に小中学校それぞれ1名ずつ、教育振興会に1名のご推薦をいただくことで計3名。社会教育関係者と家庭教育の関係者につきましては市PTA連合会から1名の推薦をいただくのと、社会教育委員の皆様の中から1名を選出していただき合わせて2名。あと5名を学識経験者として、そのうちの3名は図書館や学校、地域において読み聞かせや図書普及活動に携わっていらっしゃる団体から推薦をいただいた方々。残る2名につきましては市民の意見をより広く反映できるように、公共図書館の運営及び図書館サービスについて関心をお持ちの一般市民から公募して選出することを考えております。

応募の受付期間は7月初日から2週間とし、書類選考を経まして第8回教育委員会定例会にご提案をさせていただきたいと考えております。

説明は以上です。ご協議のほどよろしく願いいたします。

○武蔵委員長 はい、ただ今、協議9についての説明がありました。

図書館協議会の委員につきましては10名以内ということで、2名は公募で残りは従来どおり、それぞれ協力していただいている組織からお願いしたいというところです。

これにつきまして、委員の皆様から何かご意見ご質問ありましたらお願いしたいと思います。

(「ありません」という声あり)

○武蔵委員長 それでは、今、提案のあったような形で進めていただくということでお願いをしたいと思います。

続きまして、その他に移ります。

委員の皆様から何かお持ちの方いらっしゃいますか。

○杉野委員 質問ですが、先程、いじめ問題対策連絡協議会の委員の委嘱についてお話がありました。連絡協議会についてお聞きします。

条例を見ると昨年度からこの組織が設置されているということですがけれども、昨年度の

この連絡協議会の会議の回数、それからその会議の内容、活動について簡単に結構ですので教えてといただきたいなと思います。

あともう一つあります。同条例内の、いじめ問題専門委員会についてお聞きします。

教育委員会の諮問に応じて事務を行うということですので、活動について簡単に概要を教えてくださいなと思います。

○兼平指導室長 いじめ問題対策連絡協議会でございますが、年間3回の会議を行っております。1回目は前年度の岩見沢市のいじめの実態ということで、いじめ認知件数といじめアンケートの概要をご説明申し上げ、そして岩見沢市のいじめに対する取り組みについて、そして岩見沢市いじめ防止基本方針についてをご説明申し上げました。2回目、3回目はそれぞれ第1回、第2回のいじめアンケートの集約結果と、それからいじめ認知件数についてご報告申し上げ、考察についても検討をさせていただいております。そして毎回各機関の情報交流ということで行っている次第でございます。

昨年、大きないじめに関する問題というのが各機関からも出されておりましたので、どちらかと言いますと防止、未然防止という立場でそれぞれの取り組みを紹介し合ったというのが主な活動でございました。

いじめ問題専門委員会は、重大問題が発生した時の調査を担うと同時に日常的に必要なに応じて各学校に調査を行なう機関として位置づけられております。

定期的には年2回の実施をさせていただいております。

1回目につきましては、いじめ問題対策連絡協議会と同様に前年度の岩見沢市のいじめの実態と、それからいじめ問題専門委員会の役割についてご説明申し上げたところでございます。2回目につきましては、今年度の岩見沢市のいじめ問題の対策について評価をしていただいて、次年度に活かすようにさせていただきました。

よろしかったでしょうか。

○杉野委員 はい、ありがとうございます。

○武蔵委員長 従前から、いじめに対しては組織的に取り組みをしていたのですが、昨年、法令に基づき条例を制定しております。

○兼平指導室長 従前にも、いじめ問題学校支援委員会という組織があり、それはほぼこのいじめ問題対策連絡協議会と同様の機能を行っておりましたので、引き継ぐかたちで対処させていただいております。

○武蔵委員長 ほかに、委員の皆様、何かお持ちの方いらっしゃいますか。

(「ありません」という声あり)

○武蔵委員長 なければ事務局のほうから、ございますか。

それでは6月の教育委員会定例会の日程ですが、通常は第3火曜日で、6月21日が第3火曜日になります。この日は、市議会の日程と重なっており、出来れば変更して行いたいなと思いますけれども、よろしいですか。

事務局案があればお願いします。

○加藤学校教育課長 委員長がお話しのとおり、6月21日第3火曜日が定例会ということでしたが、6月の市議会第2回定例会の日程と重なる予定でございます。事務局案としましては、6月の22日水曜日、16時から開催をしたいと思っております。

○武蔵委員長 6月22日16時から第6回定例会ということですが、よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 会場につきましては、会議室ということで決めさせていただきます。よろしくをお願いします。

それでは、以上をもちまして第5回教育委員会定例会を終了させていただきます。

どうもご苦労様でした。

午後2時43分 閉会

岩見沢市教育委員会会議規則第15条の規定により、ここに署名する。

署名委員